

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E140A002	生涯学習概論 (Outline of Lifelong Learning)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員										
選択必修	2	2	教育学部			氏名 永田 誠, 清國 祐二(研), 岡田 正彦(教マネ), 藤村 晃成(研) E-mail m-nagata@oita-u.ac.jp(永田) 内線 7559(永田)										
授業の概要	現代社会は、産業構造の転換、少子高齢化、情報化、国際化などの様々な変化にさらされ、生活様式・価値観の多様化がおきている。特に、地域社会においては都市化や過疎化の進行に伴い、地域のつながりが希薄化している。生涯学習とそれを支える社会教育は、学び続けることで個人の自己実現を可能にするのみならず、社会的課題を解決する方策として注目されている。本講義では、生涯学習・社会教育を中心とした教育に関する基本的理解を図るとともに、学ぶことと個人・社会との関わりについて考え、生涯にわたる多様な学びの意義について理解を深める。															
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	教育・学びに関する基本的な理念・意義について論じることができる。															
目標2	現代における生涯学習・社会教育の現状と課題を説明することができる。															
目標3	学校の多様化とオルタナティブな学びについて考察することができる。															
目標4	生涯にわたる学びの特徴を踏まえた支援を提案・実践することができる。															
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
授業の内容																
1	これまでの学びと生涯学習・社会教育の関わり(永田, 清國, 岡田, 藤村)															
2	1. 教育とは何かを考える(1)人はなぜ学び続けるのか(永田)															
3	1. 教育とは何かを考える(2)学習権と学ぶ意味(永田)															
4	2. 生涯にわたる学びをいかに支えるか(1)政策としての生涯学習と人々の学び(清國)															
5	2. 生涯にわたる学びをいかに支えるか(2)児童期における遊びと学び(清國)															
6	2. 生涯にわたる学びをいかに支えるか(3)生徒期における探究と学び(清國)															
7	2. 生涯にわたる学びをいかに支えるか(4)成人期(保護者)における社会化と学び(清國)															
8	3. 学校の多様化とオルタナティブな学び(1)不登校の子どもの学び:学校に行かないことは「問題」なのか?(藤村)															
9	3. 学校の多様化とオルタナティブな学び(2)学びの場の多様化(藤村)															
10	3. 学校の多様化とオルタナティブな学び(3)フリースクール・オルタナティブな学びの実際【実地指導講師】(藤村)															
11	3. 学校の多様化とオルタナティブな学び(4)オルタナティブな学びの現状と課題(藤村)															
12	4. 生涯学び続けることと社会教育(1)学校教育と社会教育の接続・連携(岡田)															
13	4. 生涯学び続けることと社会教育(2)社会教育(事業・施設・団体)を活用した学び・交流・つながり(岡田)															
14	4. 生涯学び続けることと社会教育(3)社会教育における学び・交流・つながりと地域づくり(岡田)															
15	4. 生涯学び続けることと社会教育(4)生涯にわたる学習の展望と戦略(岡田)															
ラ ア ク ニ テ ン イ グ レ ブ	A:知識の定着・確認	小レポートに基づく質疑応答, 指名発問				工 夫 の 他 の	出席確認ならびに授業課題の提出等にはMoodle等を用いることがある。									
準備	配布資料・授業内容についての復習を行う。(10h)															
学修	生涯学習・社会教育に関連する文献や新聞記事などの資料・情報の収集を行う。(5h)															
事後	授業内容について配布資料等を用いて振り返り, 各回に課される授業課題に回答する。(30h)															
学修																
教科書	必要な資料については, 授業内で配布する。															
参考書	清國祐二編『生涯学習支援論』ぎょうせい, 2020年(ISBN 978-4324108048) 武井哲郎・矢野良晃・橋本あかね『不登校の子とフリースクール 持続可能な居場所づくりのために』晃洋書房, 2022年(ISBN 9784771036741) 汐見稔幸編『よくわかる教育原理』ミネルヴァ書房, 2011年(ISBN 9784623059263)															
成績 評価 の 方 法 及 び 評 価 割 合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10				
	授業課題レポート	70%														
	各ユニットの総括レポート	30%														
注意事項	本講義では, 各回の授業内容等に用いた課題レポートの提出を課すことがある。この授業課題レポートは, 必ず定められた日時までに提出すること(未提出や提出遅延は遅刻・欠席とみなす)。															
備考	履修者の関心ならびに授業の進捗状況により, 講義内容・計画を変更することがある。 やむを得ない事情で欠席する場合は, 事前にメールにて連絡する。また, 「欠席届」を提出する場合は, 併せて事由を証明できるものを提出する。(欠席等の連絡)															
リンク	URL															

教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	
教員以外で指導に関わる実務経験者	フリースクール実践者等
実務経験をいかした教育内容	フリースクール・オルタナティブな学びに関する実践事例の講話